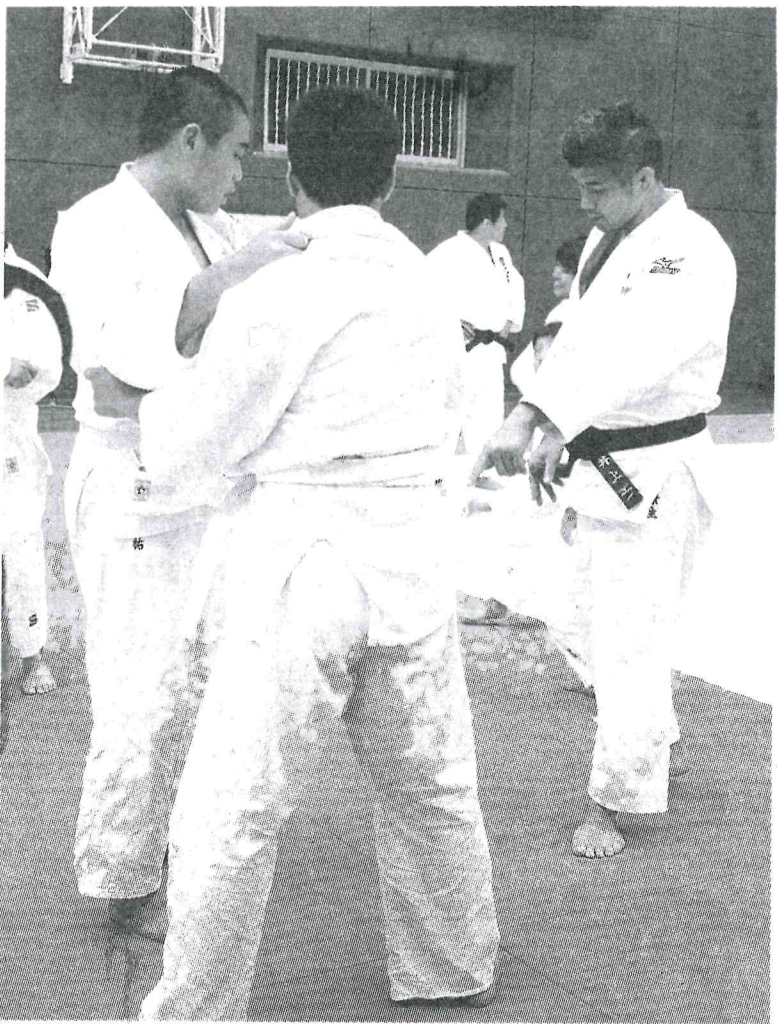


中学生に技の指導を行う全日本の井上監督(右端)



質問を受ける旭化成柔道部の吉田監督(手前左)、中央奥は中村総監督

メダリストが得意技伝授

旭化成柔道部 延岡で小中学生を指導

旭化成柔道部と全日本柔道監督、コーチによる「少年柔道教室」が3日、延岡市大貫町の延岡市民体育館で開かれた。柔道を習う県内の小中学生ら約200人が参加した。主催は旭化成柔道部。

毎年この時期に同市で

情で、時には笑顔で稽古に励んでいた。鳥入道場の鳥入悠真ちゃん(5)は「思ったよりきつかった」と言いつつも、乱取の稽古で背負い投げを掛けることができたことに満足そうな様子。延岡警察署少年柔道クラブの井出口将仁さん(南小6年)は「うまいね」と言われてうれしかった。井上先生から習った内股を試してみたい、延岡少年柔道クラブの荒木心乃夏さん(東海東小6年)は力が強くてすごかった。大内刈りが掛かって気持ち良かった」とそれぞれ充実した表情だった。

質問コーナーもあり、元気な声と共に多くの手が挙がった。何歳から柔道を始めましたか」と質問された井上監督が「5歳の時に延岡警察署少年柔道クラブで始めた」とを伝えると、驚きの声を上げる子どもたちも。地元の先輩として少し身近に感じたと感じた。

行っている夏期合宿に合わせ、同教室を開いている。今回は全日本男子強化合宿で訪れている井上康生監督やコーチ陣が招かれ、子どもたちの指導にあたった。

進行役を務めた旭化成柔道部の吉田監督は「あしたから楽しく柔道してきたい」と最後にメッセージ。小学生、中学生、保護者の3グループに分かれ、講師陣や同部の部員らと記念写真に納まった。合宿地の延岡だからこその味わいがある、ぜひたくて貴重な時間を、子どもも保護者も満喫した様子だった。

準備体操を終えると中央に集合。井上監督やアテネ五輪金メダリストの鈴木桂治コーチら4人がそれぞれ得意技を伝授した。乱取り稽古では、井上監督、鈴木コーチのほか、旭化成柔道部の中村兼三総監督、羽賀龍之介、王子谷剛志といった現役の選手らもそうそうたるメンバーが胸を貸し、子どもたちは真剣な表

2019. 8. 5

延岡から全国へ「橋の日」イベント

安賀多橋付近を清掃

350人が参加 命の橋の座石に花も

「橋の日」の4日、延岡市の安賀多橋で延岡発祥の水辺イベント第34回「橋の日」が行われた。川風に、令和の光

「橋の日」の4日、延岡市の安賀多橋で延岡発祥の水辺イベント第34回「橋の日」が行われた。川風に、令和の光



慰霊と安全と平和を願って放鳥

水郷延岡の発展を願った。主催は延岡「橋の日」実行委員会（長瀬靖夫実行委員長）。

午前5時30分ごろから

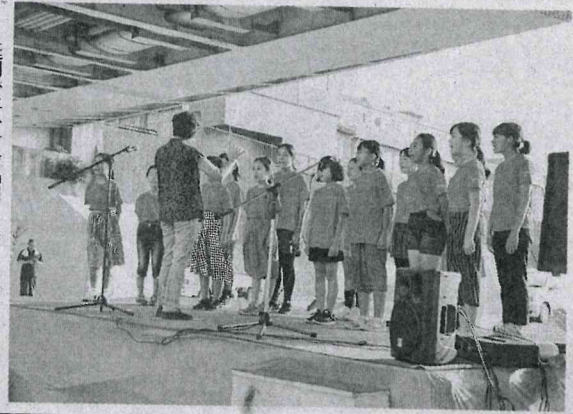
集まり始めた参加者たちは、ほろきや布巾などを手に橋の歩道のごみを拾い、欄干を磨き上げ。河川敷では除草した雑草を集めた。今年は聖心ウルスラ学園と延岡工の高校生約15人も参加し、早朝のさわやかな川風をあびながら、清掃活動に汗を流した。

昭和20年6月20日の延岡大空襲で多くの市民が安賀多橋の下に逃げ込んだことがきっかけで、安賀多橋北詰めに設



早朝に安賀多橋を清掃した延岡「橋の日」(4日) 延岡市

置されている「命の橋」の座石には、延岡市華道連盟が花を手向けた。清掃後の集会では、延



延岡少年少女合唱団の歌声も披露された

者への復讐を願う方法。日本舞踊百重流寿百重美里夢氏が「橋の日」に合わせた手ぬぐいを使ったオリジナルの舞踊を披露するなどした。

読谷山洋司市長は「橋は命と暮らしを守る大切な存在。川の豊かさが延岡の暮らしを支えている」とあいさつ。長瀬実行委員長は「水郷延岡のさらなる実現を目指して、安賀多橋河川敷の景観整備を推進していきたいと協力を呼び掛けた。慰霊と安全と平和を願ってハトを大空へ解き放つと大きな歓声と拍手が上がった。最後に参加者全員で安賀多橋を一周してイベントを締めく



「橋の日」の歌で日本舞踊を披露した寿百重流

くった。橋の日は橋梁(きょうりょう)会社(きょうりょう)に勤務していた延岡市出身の湯浅利彦さん(宮崎市在住)が、市民に橋や川への関心を高めることと、水郷延岡の発展を願って提唱。1986年、延岡「橋の日」代表の野中玄雄・今山大師任職が趣旨に

賛同して全国で初めて行った。